

移住したみなさんに
インタビュー

ようこそ 小野町

小野町には、田舎暮らしに憧れて都会から移住された方が数多くいらっしゃいます。シリーズ第4回では海外勤務を経て町へ移住されたご夫婦をご紹介します。

熱海伸男さん、静乃さんご夫妻



無理なくお付き合いができるようになりました。

◆小野町での生活はいかがですか？

鶏を飼って自然卵を作ったりもしましたが、今はブルーベリーを育てています。ブルーベリー園として、訪れた家族がのんびり過ごせる場所にしたいと思っています。犬も趣味で飼っていますが、うるさいと言われる心配もありません。サラリーマン時代に比べ、ストレスのない生活を楽しんでいます。

◆小野町の魅力は何ですか？

豊かな自然が魅力だと思います。これを活かした発展を目指せば良いのではないかと個人的には考えています。もともと小野町に住んでいる方が、自分たちの町をどのようにしていきたいのかということが大切だと思います。田舎暮らしは十人十色なので「小野町はこのようなところですよ。あなたに合えばどうぞ。」という情報発信の仕方が良いのだと思います。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。



熱海さんの畑には約600本のブルーベリーの木が植えられています。冬の寒さに負けないようご夫婦で手入れなさっていました。夏に実がなるのが今から楽しみです。

◆いつ小野町へ移住しましたか？

平成16年に横浜市から移住して4年目になります。

◆なぜ移住しようと思われましたか？

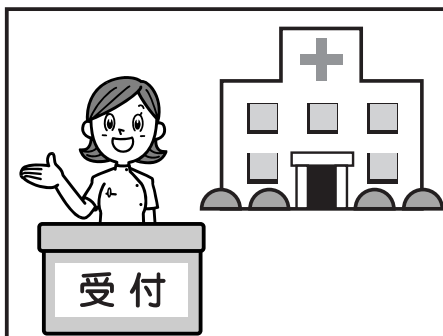
以前から田舎で暮らしたい、自然の中で土を耕したいと思っていました。定年後に田舎暮らしを始めるのは体力面や気力面で遅すぎると考えて、早期退職して移住しました。

◆なぜ小野町に決めましたか？

静岡・千葉・茨城など首都圏から比較的近いところを探していました。いわきで住む場所を探していたときに小野町の不動産を紹介され、ICが近くて便利なこともあり決めました。

◆知り合いがいないところで生活するのは不安ではありませんでしたか？

海外への移住も検討していたので、移住に関して抵抗感はありませんでした。地主の方から野菜などをいただき、お互いに物々交換などをしているうちに



◆健康福祉課
社会福祉班
☎72-6934

平成20年4月より、就学前の子どもの医療費の支払方法が変わります。現在は、医療機関などの窓口で医療費を支払い、助成申請書により役場へ請求する方法でしたが、これからは、県内の医療機関や薬局などでの窓口支払いの必要がなくなります。そのため、新たな受給者証を発行しますので、現在お持ちの受給者証との交換を、3月下旬に行います。詳細については、受給者へ通知しますのでご協力をお願いします。

乳幼児医療費の
支払いが簡単に
なります